

DPC 対象病院の在り方に係る検討の論点

1 急性期入院医療の概念としてどのように考えたら良いか。

- ・ 例えば、急性期とは患者の病態が不安定な状態から、治療によりある程度安定した状態（治癒・軽快・緩解を含む）に至るまでを指すこととしてはどうか。（D-3-2 参照）

2 DPC の対象として相応しい範囲をどのように考えたら良いか。

患者の病態に応じた医療の内容から、主に以下の療養の経過が考えられるのではないか。（D-3-2 参照）

- ・ パターン A
患者の病態が非常に重く、重度な急性期としての治療が必要な場合
- ・ パターン B
患者の病態が重度ではなく、軽度な急性期の治療で良い場合

3 2 の検討を踏まえた DPC の基準及び評価の在り方についてどのように考えたら良いか。（D-3-3 参照）

4 その他、検討すべき事項について。